

寒冷地形談話会通信

91年第6号

92/04/10発行

事務局／〒192-03 東京都八王子市南大沢1-1
東京都立大・理・地理院生室 0426-77-1111 (内3836)

1. 3月例会の報告

3月7日、本年度最終例会が東京大学で行われました。内容は下記のとおりです。取りまとめは事務局。

▽宮崎進平：「連続的永久凍土の分布と気候条件との関係」

北米大陸と東シベリアを対象に連続的永久凍土南限付近の気候条件を調べた。永久凍土の分布はPewe (1969)、Mackay (1972) や French (小野訳; 1976)などを参考とし、気候値については比較的入手の容易な外国気候表(気象庁編)を用いた。月平均気温をその月の15日の平均気温と仮定し、(月別15日平均気温) - (暦日図表) から内挿法で年間の不凍日数A(平均気温が0°C以上の期間)を求めた。さらに最暖月15日の気温(T_{max})を用いて不凍日数の補正值(X)を算出した。式は次のとおり。

$$X = A - 4 T_{\max} + 40$$

定数は北米では40だが、シベリアでは50となった。上式から、連続的永久凍土南限付近の補正不凍日数は130日/年、不連続的永久凍土南限では160日/年にほぼ一致することがわかった。なお北米とシベリアで定数が異なるが、この違いが何によるかは明らかでない。これについては、気温年較差の違いに起因する可能性が指摘された。

このほか北米・シナリ国立公園で観察した高山植物のスライド多数が披露された。

▽田中幸哉(東京大・院)「白頭山の自然について：紹介報告」

昨年、一昨年の山行で撮影されたスライドと戦前の地形図や資料を用い、白頭山の自然について報告した。演者は中国側、北朝鮮側から1回ずつ白頭山入りしたが、斜面方位により植生帯や地形が異なるほか、外国客受け入れ体制も国ごとに異なっている。また、白頭山-苦小牧火山灰(B-Tm)の噴出に関連して形成されたと考えられている火口湖(天池)の周囲には、カール状の凹地が数個認められる。中国の研究者は氷期の氷食圏谷と主張しているが、明瞭なモレーンを欠くばかりでなく、天池の形成期と矛盾する点で受け入れがたい。山頂の年平均気温が-7.3°C、年降水量が1332mmであるにもかかわらず永久凍土は確認されていない。周氷河地形学のみならず火山地質、植物生態などの観点から取り組むべき課題は多く、周辺を含めた今後の精査が期待される。

▽吉川謙二(北大・院)「南極エルスアース山脈環境調査隊報告」

大西 宏氏(故人)を隊長として2年前に結成された南極大陸横断調査隊(Antarctic Walk)は、人曳きソリによって南極点到達を目指すばかりでなく、学術調査も行なう。同時に極地装備のR/Dに挑戦する。今回は本調査隊によりパトリオットヒル周辺で行われた予察調査について報告があった。氷河・周氷河プロセス計測はもちろんのこと、近年注目されている地球環境変化の捕捉をねらった調査案・方法などが発表され、参加者からアドバイスがあった。この他、本調査隊のために新たに製作された装備品や食品(特製吉川ビスケットなど)の紹介もあった。また緊急時の支援体制作りや社会的認識度の向上をめざして、後援会結成のよびかけが行われた。なお、本調査隊に関する追跡記事が月刊「岳人」に連載されているので、関心のある方は参照されたい。

2. 地理学会小集会報告

日本地理学会会期中に小集会を行ないました。前報では4月2日に開催予定とお伝えしましたが、プログラムの都合で4月1日に変更いたしました。事前連絡がゆきわたらず、会員各位にご迷惑をおかけしましたこと、お詫びいたします。

小集会では91年度会計報告や今後の活動方針、92年度事務局の選出などが行なわれました。今年度は本会発足20年の記念すべき節目でもあり、関連行事の開催案が持ち上がりました。具体適内容は未定ですが、秋以降に開催すべく立案・運営することとなりました。内容が決定し次第、お知らせいたします。また、92年度事務局は東京学芸大学小泉研究室に担当していただくことになりました。

集会後は場所を変えて活発な議論が交わされ、また会員相互の旧交が暖められました。

3. その他

1) 訃報・・・本会会員 柳林 実 氏が本年2月逝去されました。氏の功績をたたえとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

2) 会費納入のお願い・・・前報でも記しましたが、会費の納入状況が芳しくありません。会員相互の公平のためにも、経理の手間を軽減するためにも年度頭に会費をお忘れなく。なお、残念ながら88年度以降3年以上会費未納の方については、92年度より発送を停止させていただきます。会費は郵便振替でも、例会会場でも受け付けます。なお、納入状況は事務局で照会できますので、往復ハガキで御一報下さい（新事務局あて）。

寒冷地形談話会 東京0-171342 1,500円/年

3) 92年度名簿・・・92年度会員名簿を同封いたします。各自で綴じてください。誤記・異動がありましたら新事務局まで。

4) 新事務局の連絡先・・・上記のように92年度から事務局が移管されます。以後の事務連絡はこちらへおねがいします。

〒184 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学地理学教室・小泉研究室気付
寒冷地形談話会事務局

5) その他・・・92年度第1回例会を5月23日（土）に予定しています。詳しくは後日お知らせします。なお、例会での発表者・題目等でご希望がありましたら新事務局までお知らせ下さい。



昨年の「夏の学校」より